

～ポートフォリオ的な自己評価表～

- 毎時間の学習内容を記録し、活動の歩みを残していくために使用する。

< 評価表の特徴 >

- ・つきたい力と自己評価項目の内容が整合しており、学習内容に応じて評価項目が自由に選択できる。
- ・相互評価が組み込むことによって仲間や教師からの評価を受けることができ、今後の学習の方向をより確かなものとする事ができる。
- ・学習の流れや意識、態度の時間的な変容が把握しやすく、今後の取組に生かすことができる。

< 発達段階をふまえた活用 >

- ・1年生は、教師が評価項目の指示を行い、全員が同じ評価を行う。
- ・2年生は、「教師が評価項目の指示を行う」「生徒が評価項目を選択する」という2つ場合を設定する。
- ・3年生は、「教師が評価項目の指示を行う」「生徒が評価項目を選択する」「生徒自身が評価項目を決める」という3つの場合を設定する。

～ 選択する評価項目（付きたい力）～

< 学び方 >

1. 課題認識	・ガイダンスを通して、学年テ・マ設定の理由や年間の見通しをもつことができた。
2. テ・マ設定	・学習テ・マに思いや願いがこめることができた。
3. 追究方法、追究計画	・計画が具体的で、目標・テ・マ・内容・方法を整理することができた。
4. 体験・調査活動	・班のテ・マや追究の見通しに沿って、進んで調査活動を行うことができた。
5. 発表準備、交流会	・視聴覚機器などの有効な利用を図りながら、自分達の学習の成果を分かりやすく発表することができた。

< ものの見方 >

6. 多様なものの見方、考え方	(1)中間交流会などから、自分の学びのよさや課題を見つけ調査活動に生かすことができた。
	(2)研究の動機・目的・方法・結果・課題などの要点をおさえながらまとめることができた。

< 自己の生き方 >

7. 自分に生かす場	(1)さまざまな体験や人々とのふれあいや交流を通して、多様なものの考え方や生き方があることを理解したか。
	(2)『星章』学習で学んだことを生活に生かそうとしているか。
	(3)「星章」を振り返って、新たな疑問を得ることができた。

学級テ・マ『
班テ・マ『

『
『
自己評価表
1年（ ）組（ ）番 氏名（ ）

回 数	月 日	活 動 内 容	自 己 評 価 項 目					活動の振り返り	仲 間 か ら	先生から	
			学習内容にそって自己評価		毎時間行う自己評価						
			学習内容にそって、自分 分連で評価項目を決めて 自己評価をしよう。		意欲的に 学習できた か。	仲間と協 力して活動 できたか。	次の時間 何を学習す るか分かって いる。				
1	/		<番号> 1 2 3 4 _ _ _	<番号> 1 2 3 4 _ _ _		1 2 3 4 _ _ _	1 2 3 4 _ _ _	1 2 3 4 _ _ _			
2	/		<番号> 1 2 3 4 _ _ _	<番号> 1 2 3 4 _ _ _		1 2 3 4 _ _ _	1 2 3 4 _ _ _	1 2 3 4 _ _ _			
3	/		<番号> 1 2 3 4 _ _ _	<番号> 1 2 3 4 _ _ _		1 2 3 4 _ _ _	1 2 3 4 _ _ _	1 2 3 4 _ _ _			
4	/		<番号> 1 2 3 4 _ _ _	<番号> 1 2 3 4 _ _ _		1 2 3 4 _ _ _	1 2 3 4 _ _ _	1 2 3 4 _ _ _			
5	/		<番号> 1 2 3 4 _ _ _	<番号> 1 2 3 4 _ _ _		1 2 3 4 _ _ _	1 2 3 4 _ _ _	1 2 3 4 _ _ _			